

# 伏見城跡・桃山古墳群現地説明会資料

平成29年8月5日（土）

所在地 京都市伏見区桃山町永井久太郎  
調査機関 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課  
調査期間 平成29年7月18日から8月25日（予定）  
調査面積 全体で約42㎡(今回の調査地は30㎡)  
調査要因 国庫補助による発掘調査

## 1 はじめに

今回の調査地は伏見城跡と桃山古墳群に含まれます。場所は伏見区桃山町永井久太郎の敷地で伊達街道の東側に隣接する一角に当たります。伏見城は天下統一を成し遂げた豊臣秀吉が晩年に築城しており、多くの研究から4期の時代区分によって分けられています。

1593年(文禄二年)に秀吉が甥の秀次に関白職を譲り、隠居生活をするため指月の丘に指月城を築城しました。秀吉の側室である浅井氏(茶々)が拾(のちの秀頼)を出産したことによって1594年(文禄三年)に秀吉は指月城を本格的な城郭に改築をします(Ⅰ期)。

また、明の使節の接見に合わせて修築を行いますが、改築して1年もたたない1596年(慶長元年)に壊滅的な被害を出した慶長の大地震が起こります。その大地震によって指月城は崩壊しました(Ⅱ期)。

その慶長の大地震の後、伏見城は木幡山に場所を移し、築城されました。城の築城とともに付近に武家屋敷を造営します。1598年(慶長三年)に秀吉が亡くなったあと、関ヶ原の戦いの前哨戦で伏見城は焼亡します(Ⅲ期)。

関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康は1601年(慶長六年)に伏見城に入城し、伏見城を再建し、1623年(元和九年)には伏見城は廃城となります(Ⅳ期)。家康・秀忠・家光の3代の将軍宣下が伏見城で行われました。

今回の調査地は徳川幕府の京都御大工頭である中井家の『伏見城御城図』や『伏見御城郭并武家屋敷取之繪図』(京都市蔵)の絵図によると武家屋敷があったと想定される場所に当たります。

## 2 調査について

○昭和63年の調査

今回の調査地のすぐ南側で昭和63年に発掘調査が行われました。成果としては伏見城期の武家屋敷にともなう石垣と石で組み合わせた石組溝が見つかりました。その石組溝は伊達街道にともなう東の道路側溝であると考えられています。石垣の東側では南北2間×東西7間分の礎石建物跡が見つかりました。

### 年表

1593年	指月城の築城が始まる	Ⅰ期
1593年	秀頼の誕生	
1596年	慶長の大地震で城が崩壊	Ⅱ期
1597年	木幡山に伏見城を移築する	
1598年	秀吉の死去	Ⅲ期
1600年	関ヶ原の戦いが勃発する	
1623年	伏見城が廃城となる	Ⅳ期

○今回の調査地

今回の調査で昭和63年の調査で見つかった石垣と石組溝の延長部分を見つけることができました。

石垣

今回見つかった石垣は南北に約3.7mの長さを測ります。西側の伊達街道に面して造られた石垣です。見つかった石垣の高さは約60cmで、少なくとも2段は積まれていたと考えられます。石材は花崗岩などを使用しています。また、石垣の裏側には雨水などを排水させたり、崩落を防止するための裏込の石が入っており、石垣の石材を安定させるために根固めの石が積まれています。

石組溝

この石組溝は調査区の南西隅が近代の攪乱によって一部欠損していますが、長さは約3.2mで、石組の側壁の間は50cmで、深さも約50cmあります。溝の側壁を設置したあとに底石を敷いていて、溝の底には幅10cmから50cmほどの石を底に平坦になるように敷いています。

また、平成10年の発掘調査のときに、この溝の延長部分が見つかりました。今回見つかったこの溝は北に向かって低くなっていて、水が流れる時は南から北に向かって流れていたことが想定されます。それは、現在の伊達街道が南から北に向かって傾斜していることと関係しているものと考えられます。

構築工程

- ① 切土・盛土をして造成する
- ② 地業となる根固め用に石を据え置く
- ③ 石垣を設置する
- ④ 石組溝を構築する
- ⑤ 犬走の土を盛り、化粧土を施す

## 3 まとめ

今回の調査により、昭和63年の調査で発見された石垣と石組溝の延長部が発見されました。昭和63年の調査と今回の調査は構築過程が同様であることを確認しました。しかし、石組溝の側壁を固定する土(版築工程)があることは前回と異なります。これは、場所によって石組溝の構築方法が異なることを示唆しています。また、昭和63年の調査では石垣の東側に礎石建物が見つかりました。この建物は『伏見城御城図』や『伏見御城郭并武家屋敷取之繪図』によると「山内土佐守」「堀久太郎下屋敷」と記されていますが、どちらの屋敷であるかは現時点では検討中です。今後、石垣の東側の調査で建物に関する遺構が確認できるのが課題となりますが、伏見城の武家屋敷に関わる街づくりの一端が明らかとなりました。



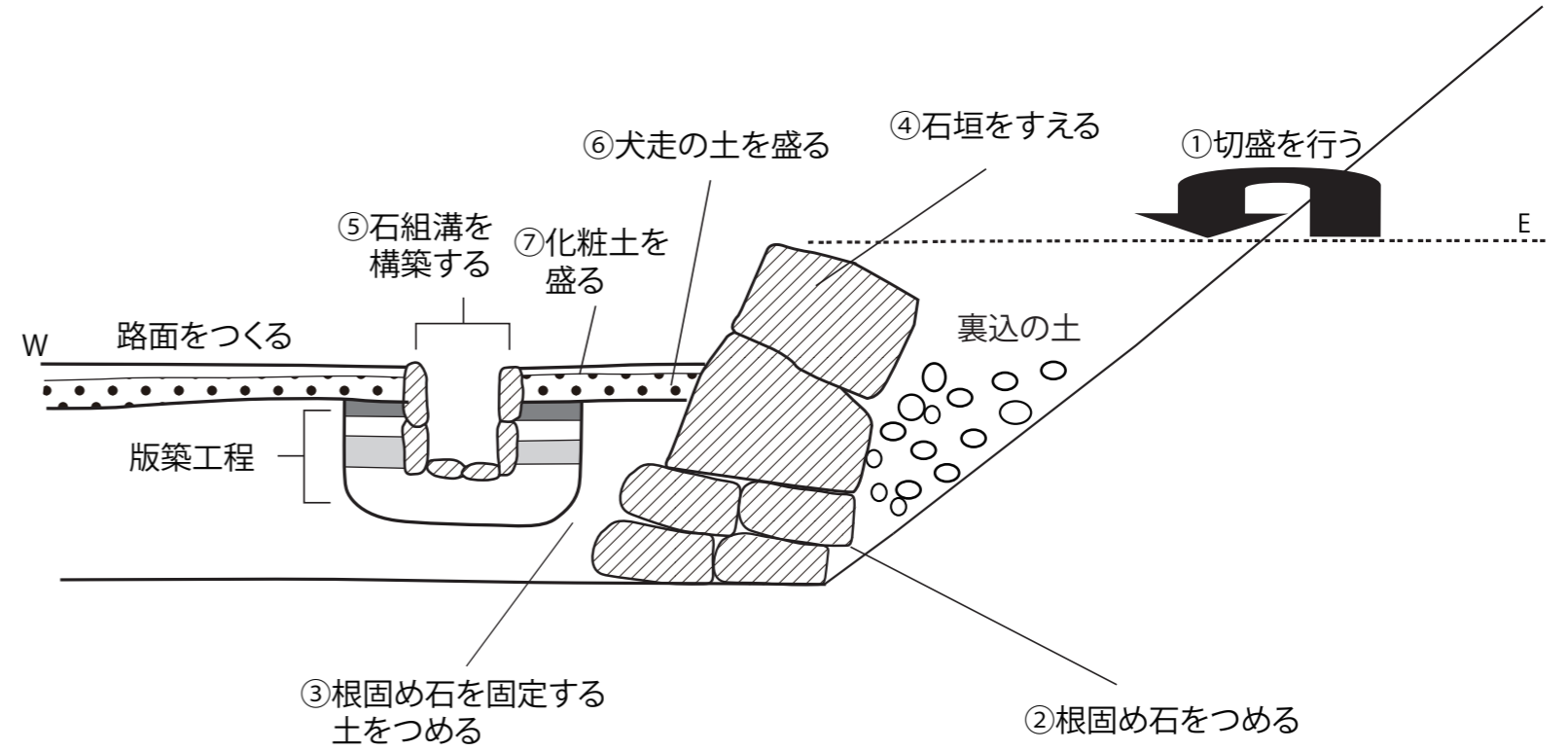
近隣調査地図



石組溝全景  
(南から)



石垣全景  
(北西から)



調査区の断割模式図



# 伊達街道



今回の調査

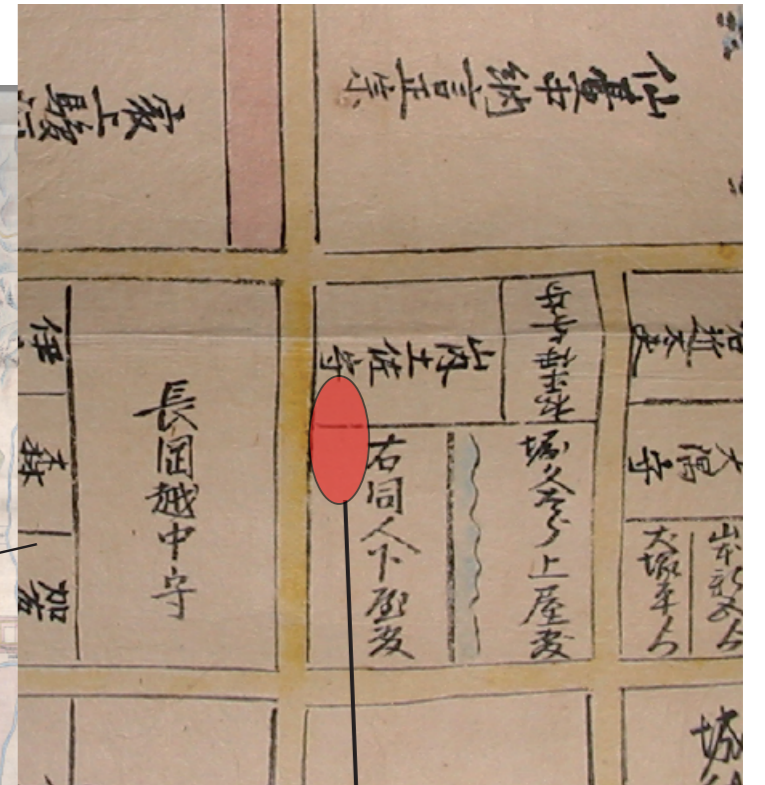


昭和63年度調査全景  
(北から)



昭和63年度の調査

調査地配置図



今回の調査地

『伏見御城城郭並武家屋敷取図』 京都市蔵